

指定ごみ袋による有料化の実施方針について

1 「指定ごみ袋有料化について考えるタウンミーティング」の開催概要

(1)開催趣旨・日程・会場・参加者数

令和6年10月に開催した議員協議会の協議内容を踏まえて、ごみ排出に係る課題や指定ごみ袋による有料化の制度案、新たな財源を活用した施策案を市民に説明し、参加者と市長が意見交換をする機会として開催

No	日程	開催時間	会場	参加者数
1	11 月 23 日(土)	13:00～14:30	多田東会館 集会室	13
2		16:30～18:00	緑台公民館 集会室	14
3	12 月 1 日(日)	11:00～12:30	市役所 7 階 大会議室	40
4		14:30～16:00	清和台公民館 集会室	24
5		18:00～19:30	加茂ふれあい会館 集会室	9
6	12 月 7 日(土)	10:30～12:00	牧の台会館 集会室	24
7		14:00～15:30	明峰公民館 集会室	10
8	12 月 11 日(水)	18:00～19:30	キセラ川西プラザ 大会議室	25
9	12 月 14 日(土)	11:30～13:00	川西南公民館 大集会室	9
10		16:00～17:30	東谷公民館 集会室	22
11	12 月 15 日(日)	10:00～11:30	北陵公民館 集会室	29
12		14:00～15:30	多田公民館 集会室	23
13		17:30～19:;00	けやき坂公民館 集会室	15
合 計				257

(2)周知方法

・広報11月号、市ホームページ、SNSへの掲載、各コミュニティ会長、自治会長への周知依頼

※参加者数に余裕がある会場は、コミュニティ会長に再依頼

(3)参加方法

事前申込み(WEB・電話)、会場に余裕がある場合、当日参加可

(4)タウンミーティングでの主なご意見

項 目	内 容
有料化の実施	<賛成> ・燃やすごみ以外も有料化しないと、ごみ全体の減量が進まない ・家庭ごみだけではなく、事業系ごみも有料化すべき <反対> ・物価高騰で家計が苦しいので負担増はしんどい ・不法投棄の増加が心配 ・ごみの有料化は税の2重取り、税収でまかなうべき <条件付き> ・ごみが減量している状況で有料化は必要ない ・減量に取り組んだ上で目標達成できなかったら有料化する ・有料化とごみ減量意識の醸成の両方を進めるべき ・有料化を進める前に、啓発などの他のごみ減量施策に取り組むべき ・おむつや剪定枝などの減らせないごみを有料化の対象外に ・有料化制度について周知徹底できるよう工夫してほしい ・戸別収集を実施してほしい

	・収集、処理にかかる経費削減の努力 ・おむつの排出方法について検討してほしい
指定ごみ袋	・指定ごみ袋の値段は安い方がいい ・家庭によってごみの量は違うので、袋は小さいものから用意してほしい
収入の使い方	・負担に見合った市民サービスの実施 ・市民全体に還元されるサービスを検討 ・新たな市民サービスを具体的に示してほしい
ごみ減量、分別の取組	・生ごみの減量対策の推進(堆肥化・水切り・乾燥の啓発、コンポスト補助など) ・プラスチック製容器包装の分別(汚れ、シール付着等)を周知してほしい
その他	・外国人へのごみ出しルールや分別方法の周知 ・再生資源集団回収奨励金の推進

2 指定ごみ袋による有料化の実施判断

(1)有料化の実施判断について

- ・現在、市民1人1日当たりごみ排出量は減少傾向にあるため、令和8年度の実施は見送る
- ・基本計画のごみ減量目標値の達成状況を毎年度検証する
- ・基本計画は、本市のごみ排出状況やごみ減量の推移、国の動向や廃棄物行政をめぐる諸状況の変化を踏まえ、必要に応じて中間年度である令和9年度に見直す
- ・計画に基づく減量・再資源化施策に取り組んだ上でも、1人1日当たりごみ排出量が増加や横ばい傾向になり、基本計画の目標達成が困難な状況になった場合、指定ごみ袋による有料化の実施に向けて進める

(参考)目標値(1人1日当たりごみ排出量)の達成見込み

基本計画策定時の令和3年度以後、令和4、5年の実績値と令和6年度の推計値において減少傾向にある。この減少傾向が継続する場合、令和13年度までの計画期間中に目標達成が見込まれる。

【基本計画に掲げる目標項目と目標値】

項 目	令和3年度実績 (基準年度)	4年度	5年度	6年度速報 (推計値)	令和13年度 目標値	増減率 (削減量)
市民1人1日当たり ごみ排出量	846g	822g	800g	788g	755g	-10.8% (-91g)
市民1人1日当たり 家庭ごみ排出量 (資源物・集団回収除く)	463g	446g	431g	425g	400g	-13.6% (-63g)
事業系ごみ量	12,369t	12,267t	12,294t	12,399t	11,380t	-8.0% (-989t)
リサイクル率	26.5%	26.0%	25.7%	25.1%	26.5%	維持

※令和6年度の推計値は、速報として5年度の4～12月実績と比較した増減割合から年間値を算出